

令和7年6月27日
総合政策局モビリティサービス推進課

地域交通 DX 推進プロジェクト「COMmmmONS」始動！

～「交通空白」解消など地域交通の課題解決をデジタル活用により推進する新たなプロジェクトを開始します～

国土交通省では、全国の「交通空白」解消など地域交通の「リ・デザイン」をさらに加速し、持続可能な地域交通を実現するため、連携・協働を軸とした地域交通 DX 推進プロジェクト「COMmmmONS」(コモンズ)を新たに開始します。

「COMmmmONS」は、地域のモビリティ資源をすべての人にとってアクセス可能な共通の社会基盤＝“コモンズ”として捉え、サービス、データ、マネジメント、ビジネスプロセスの4つの柱で地域交通の課題解決をもたらすDXのベストプラクティス創出とその成果の標準化及び横展開を推進します。

COMmmmONS

● COMmmmONS (コモンズ) とは？



COMmmmONS

地域交通の領域では、MaaS アプリや配車アプリなど、デジタル技術を活用したモビリティサービスの普及が進む一方、業務モデルやシステムが独自に構築されてきた結果、それぞれのサービスやデータが連携していない「サイロ化」の課題が生じています。

「交通空白」解消に向け交通サービスの品質や生産性の向上が喫緊の課題となるなか、「サイロ化」を打破し、連携・協働を軸とした地域交通のDXを体系的に推進するための新たなアプローチが必要です。

地域交通 DX 推進プロジェクト「COMmmmONS(コモンズ: Code for Mobility Common Society)」は、サービス、データ、マネジメント、ビジネスプロセスの4つの柱でデジタル技術を活用した課題解決のベストプラクティス創出と標準化を一体的に推進し、その横展開を図ることで、社会の共通財産となる技術的アセットを生み出す新たな取組です。

● 公式ウェブサイト公開！

プロジェクトの進捗や成果を公開するためのウェブサイト(ティザー版)をリリースしました。

今後、様々なコンテンツを追加していきます。是非ご覧ください。

<https://www.mlit.go.jp/commmmons/>

<問合せ先>

総合政策局モビリティサービス推進課 内山、志賀、水田、松本、瀧岡、増野

電話(直通):03-5253-8980 メール:hqt-mobilityservice1002@gxb.mlit.go.jp

ABOUT

「交通空白」解消など地域交通の
「リ・デザイン」の全面展開を進めるため、

サービス

データ

マネジメント

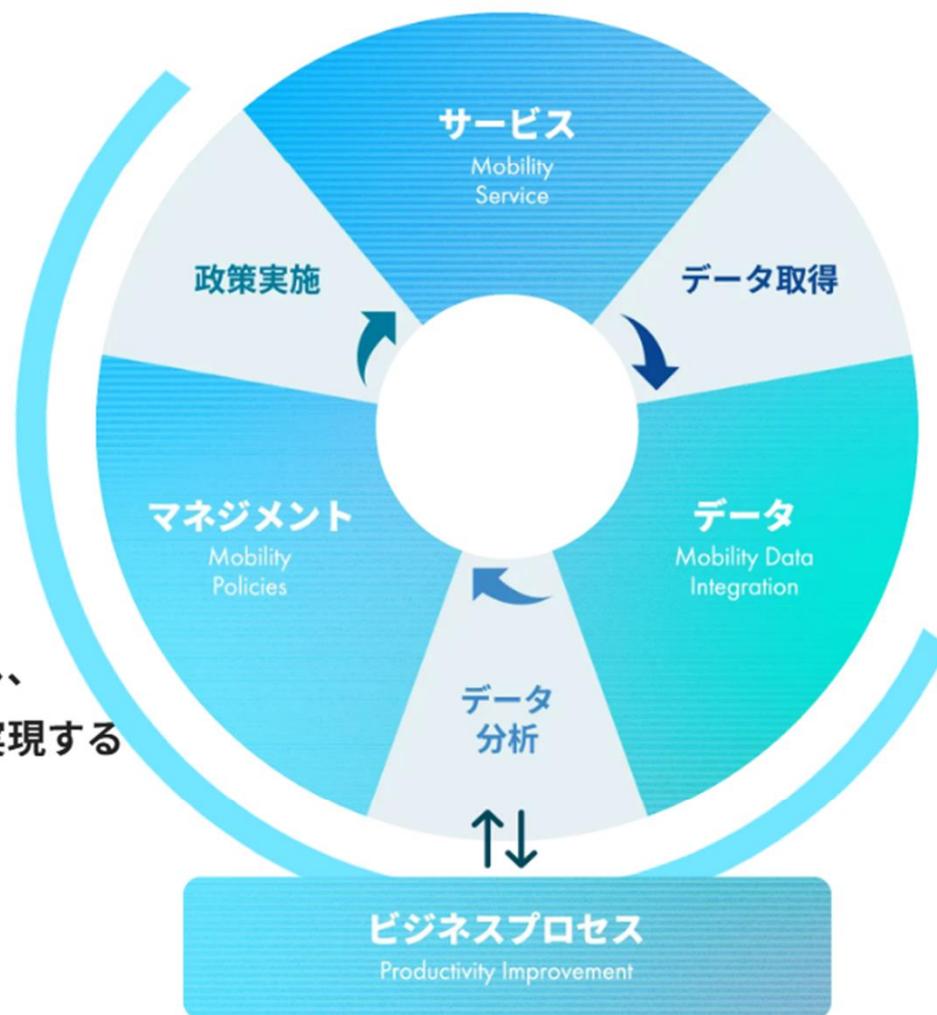
ビジネスプロセス

の4つの観点からデジタル活用を一体的に推進し、
地域交通の持続可能性、利便性、生産性向上を実現する

地域交通 DX 推進プロジェクト

COMmmONS (コモンズ)

を新たにスタートします。



地域交通DX推進プロジェクト「COMmmONS(コモンズ:Code for Mobility Common Society)」について

これまでの取組と課題

- MaaSアプリや配車アプリなど、デジタル技術を活用したモビリティサービスは一定程度普及。
- 他方、事業者や地域ごとに、業務やシステムなどを独自に構築してきたため、それぞれのサービスやデータが連携していない「サイロ化」の業界構造が生じ、サービス品質や業務生産性の向上が「交通空白」解消に向けた課題として顕在化している。

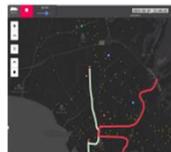


新たな取り組み

- 「サイロ化」を打破し、連携・協働を軸とした地域交通のDXを体系的に推進するため、国のイニシアティブによる①優良事例(ベストプラクティス)創出と②標準化を一体的に推進し、横展開。
- 生み出された技術的アセットを社会の共通財産として公開・普及させることにより、地域交通のサービス、データ、政策、ビジネスの相互連携やシステム・データの互換性を確保。利用者利便や事業生産性の飛躍的な向上を実現。

地域交通DX推進プロジェクト
「COMmmONS」(コモンズ)を始動

COMmmONSのプロジェクト例

サービス品質の向上	他分野連携や移動需要の惹起など、地域交通の課題を解決するモビリティサービスの品質向上を推進	MaaSアプリの標準化推進プロジェクト 鉄道、バス、デマンドバスなどのチケット認証や販売システムの技術仕様を標準化し、一つのアプリで様々なサービスに接続可能に 
データ取得環境の構築	バラバラに存在する地域交通に関するデータを標準的、総合的、横断的に取得可能とする環境を整備	モビリティデータの標準化プロジェクト 利用実績データや運行情報データの仕様を標準化し、地域におけるデータ活用のコスト低減・利便性向上 
データに基づく地域交通政策	データ分析技術の開発や路線再編を円滑化する仕組み作りなど、データに基づく地域交通政策を推進	データ分析ソリューションの高度化プロジェクト 地域交通再編によるサービスレベルや収支率の変化を予測するシミュレーション技術を開発し、地域交通の再構築を推進 
事業生産性の向上	業務モデルの標準化やシステムインターフェースの共通化など、地域交通の生産性向上を推進	バス業務の標準化プロジェクト 業界連携によりバス事業の業務プロセスを標準化し、データ活用や業務効率の向上を実現 